

さいたま市立芝川小学校 学校運営協議会 報告

日時 令和6年9月27日(金) 10:00~11:30

場所 1階 校長室

委員 9名

次第

- ① 校長挨拶
- ② 前期教育活動の報告
- ③ 熟議「防災教育における地域との連携について」
- ④ 「学校運営について」及び「学校職員の採用や任用について」
- ⑤ 諸連絡

【委員の方から】

○朝鮮学校における防災教育

朝鮮学校は、遠方からくる児童生徒も多く、休校等の判断は早めに行っている。避難訓練も他校同様、行っているが、避難所には指定されていない。そのため災害時の備蓄も自分たちで用意をしている。周辺地域の方が避難してくれば、受け入れる準備もある。芝川小学校や第二東中とも近いので、災害時は協力していきたい。

○住民の避難意識について

住民の避難場所に対する意識は差がある。実際に避難所に避難しても、環境は劣悪であることが多い。(体育館では冷暖房もない)子が通う学校は芝川小学校でも、避難所は別という場合もあり、知らない施設を避難所に指定されると、実際に避難したときその施設を知っている人が少ないなど、地域との連携に不安がある。

○学校が避難所になった時の課題

さいたま市では震度5弱以上の地震が発生した場合、避難所が開設される。運営訓練等も行っているが、子どもがいない場合を想定している。子どもの教育と避難住民の受け入れを並行して行うことは、非常に大変であることが予想される。有事の際に頼りになるのは、おやじの会など普段から学校の施設を使っている方たちになる。そういう意味では、中学生などは頼りになる。実際に、第二東中では避難所運営訓練に生徒が参加している。普段から避難所運営に必要なスキルを身に付けておくためにも、イベントなどに非常食の活用や災害用トイレの設置を位置づける案もある。

○防災教育での課題

小学校でも教科担任制が導入されてきている。いつどんな状況でも避難ができるようにする必要がある。災害時の学校生活における対応マニュアルはないので、様々な状況を想定しておくことが大切になる。

【その他】

- 西校舎の非常階段の滑りやすく危険である。対策が必要。
- 10月に学校評価アンケートを実施する。
- 芝川小学校の業務改善アンケートの結果を紹介した。
- 次回は令和7年2月13日(木)に行く。

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

- ▶ 令和7年の災害及び防災教育について
- ▶ 1月 1日 能登半島地震・・・冬季休業中
- ▶ 8月 8日 宮崎地震・・・夏季休業中
- ▶ 8日～15日「南海トラフ地震臨時情報」発表・・・夏季休業中
- ▶ 8月16日 台風 7号・・・夏季休業中
- ▶ 8月30日 台風10号・・・2学期3日目 給食後3時間下校



3 熟議「防災教育における地域との連携について」

【学校が関わる防災行事】

- ▶ 4月26日（金）小中合同引き渡し訓練（第二東中、海老沼小）
- ▶ 7月17日（水）竜巻対応避難訓練（ビデオ視聴）
- ▶ 7月25日（木）避難所開設運営委員会
- ▶ 9月 3日（火）避難訓練（地震→火災）



- ▶ 10月19日（土）避難所運営訓練
- ▶ 1月16日（木）避難訓練（地震、教科担任）

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

芝川小学校の避難所実態

- ▶ **地震**：大規模地震発生時（さいたま市で震度5弱以上）で避難所が開設
※児童がいる場合は引き渡し。
- ▶ **台風、洪水**：芝川小学校は、指定避難所にはなりません。
※児童にも台風で避難指示が出た場合は、学校に来てはいけなことを指導
※近隣の避難所にならない学校：桜木小・中、第二東中
※近隣の避難所になる学校：大宮東小・中、大宮八幡中、海老沼小、片柳小・中
- ▶ **避難所**：中川自治会、天沼1丁目、2丁目自治会

さいたま市立芝川小学校 学校運営協議会 報告

日時 令和6年9月27日(金) 10:00~11:30

場所 1階 校長室

委員 9名

次第

- ① 校長挨拶
- ② 前期教育活動の報告
- ③ 熟議「防災教育における地域との連携について」
- ④ 「学校運営について」及び「学校職員の採用や任用について」
- ⑤ 諸連絡

【委員の方から】

○朝鮮学校における防災教育

朝鮮学校は、遠方からくる児童生徒も多く、休校等の判断は早めに行っている。避難訓練も他校同様、行っているが、避難所には指定されていない。そのため災害時の備蓄も自分たちで用意をしている。周辺地域の方が避難してくれば、受け入れる準備もある。芝川小学校や第二東中とも近いので、災害時は協力していきたい。

○住民の避難意識について

住民の避難場所に対する意識は差がある。実際に避難所に避難しても、環境は劣悪であることが多い。(体育館では冷暖房もない)子が通う学校は芝川小学校でも、避難所は別という場合もあり、知らない施設を避難所に指定されると、実際に避難したときその施設を知っている人が少ないなど、地域との連携に不安がある。

○学校が避難所になった時の課題

さいたま市では震度5弱以上の地震が発生した場合、避難所が開設される。運営訓練等も行っているが、子どもがいない場合を想定している。子どもの教育と避難住民の受け入れを並行して行うことは、非常に大変であることが予想される。有事の際に頼りになるのは、おやじの会など普段から学校の施設を使っている方たちになる。そういう意味では、中学生などは頼りになる。実際に、第二東中では避難所運営訓練に生徒が参加している。普段から避難所運営に必要なスキルを身に付けておくためにも、イベントなどに非常食の活用や災害用トイレの設置を位置づける案もある。

○防災教育での課題

小学校でも教科担任制が導入されてきている。いつどんな状況でも避難ができるようにする必要がある。災害時の学校生活における対応マニュアルはないので、様々な状況を想定しておくことが大切になる。

【その他】

- 西校舎の非常階段の滑りやすく危険である。対策が必要。
- 10月に学校評価アンケートを実施する。
- 芝川小学校の業務改善アンケートの結果を紹介した。
- 次回は令和7年2月13日(木)に行く。

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

- ▶ 令和7年の災害及び防災教育について
- ▶ 1月 1日 能登半島地震・・・冬季休業中
- ▶ 8月 8日 宮崎地震・・・夏季休業中
- ▶ 8日～15日「南海トラフ地震臨時情報」発表・・・夏季休業中
- ▶ 8月16日 台風 7号・・・夏季休業中
- ▶ 8月30日 台風10号・・・2学期3日目 給食後3時間下校



3 熟議「防災教育における地域との連携について」

【学校が関わる防災行事】

- ▶ 4月26日（金）小中合同引き渡し訓練（第二東中、海老沼小）
- ▶ 7月17日（水）竜巻対応避難訓練（ビデオ視聴）
- ▶ 7月25日（木）避難所開設運営委員会
- ▶ 9月 3日（火）避難訓練（地震→火災）



- ▶ 10月19日（土）避難所運営訓練
- ▶ 1月16日（木）避難訓練（地震、教科担任）

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

芝川小学校の避難所実態

- ▶ **地震**：大規模地震発生時（さいたま市で震度5弱以上）で避難所が開設
※児童がいる場合は引き渡し。
- ▶ **台風、洪水**：芝川小学校は、指定避難所にはなりません。
※児童にも台風で避難指示が出た場合は、学校に来てはいけなことを指導
※近隣の避難所にならない学校：桜木小・中、第二東中
※近隣の避難所になる学校：大宮東小・中、大宮八幡中、海老沼小、片柳小・中
- ▶ **避難所**：中川自治会、天沼1丁目、2丁目自治会

さいたま市立芝川小学校 学校運営協議会 報告

日時 令和6年9月27日(金) 10:00~11:30

場所 1階 校長室

委員 9名

次第

- ① 校長挨拶
- ② 前期教育活動の報告
- ③ 熟議「防災教育における地域との連携について」
- ④ 「学校運営について」及び「学校職員の採用や任用について」
- ⑤ 諸連絡

【委員の方から】

○朝鮮学校における防災教育

朝鮮学校は、遠方からくる児童生徒も多く、休校等の判断は早めに行っている。避難訓練も他校同様、行っているが、避難所には指定されていない。そのため災害時の備蓄も自分たちで用意をしている。周辺地域の方が避難してくれば、受け入れる準備もある。芝川小学校や第二東中とも近いので、災害時は協力していきたい。

○住民の避難意識について

住民の避難場所に対する意識は差がある。実際に避難所に避難しても、環境は劣悪であることが多い。(体育館では冷暖房もない)子が通う学校は芝川小学校でも、避難所は別という場合もあり、知らない施設を避難所に指定されると、実際に避難したときその施設を知っている人が少ないなど、地域との連携に不安がある。

○学校が避難所になった時の課題

さいたま市では震度5弱以上の地震が発生した場合、避難所が開設される。運営訓練等も行っているが、子どもがいない場合を想定している。子どもの教育と避難住民の受け入れを並行して行うことは、非常に大変であることが予想される。有事の際に頼りになるのは、おやじの会など普段から学校の施設を使っている方たちになる。そういう意味では、中学生などは頼りになる。実際に、第二東中では避難所運営訓練に生徒が参加している。普段から避難所運営に必要なスキルを身に付けておくためにも、イベントなどに非常食の活用や災害用トイレの設置を位置づける案もある。

○防災教育での課題

小学校でも教科担任制が導入されてきている。いつどんな状況でも避難ができるようにする必要がある。災害時の学校生活における対応マニュアルはないので、様々な状況を想定しておくことが大切になる。

【その他】

- 西校舎の非常階段の滑りやすく危険である。対策が必要。
- 10月に学校評価アンケートを実施する。
- 芝川小学校の業務改善アンケートの結果を紹介した。
- 次回は令和7年2月13日(木)に行く。

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

- ▶ 令和7年の災害及び防災教育について
- ▶ 1月 1日 能登半島地震・・・冬季休業中
- ▶ 8月 8日 宮崎地震・・・夏季休業中
- ▶ 8日～15日「南海トラフ地震臨時情報」発表・・・夏季休業中
- ▶ 8月16日 台風 7号・・・夏季休業中
- ▶ 8月30日 台風10号・・・2学期3日目 給食後3時間下校



3 熟議「防災教育における地域との連携について」

【学校が関わる防災行事】

- ▶ 4月26日（金）小中合同引き渡し訓練（第二東中、海老沼小）
- ▶ 7月17日（水）竜巻対応避難訓練（ビデオ視聴）
- ▶ 7月25日（木）避難所開設運営委員会
- ▶ 9月 3日（火）避難訓練（地震→火災）



- ▶ 10月19日（土）避難所運営訓練
- ▶ 1月16日（木）避難訓練（地震、教科担任）

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

芝川小学校の避難所実態

- ▶ **地震**：大規模地震発生時（さいたま市で震度5弱以上）で避難所が開設
※児童がいる場合は引き渡し。
- ▶ **台風、洪水**：芝川小学校は、指定避難所にはなりません。
※児童にも台風で避難指示が出た場合は、学校に来てはいけなことを指導
※近隣の避難所にならない学校：桜木小・中、第二東中
※近隣の避難所になる学校：大宮東小・中、大宮八幡中、海老沼小、片柳小・中
- ▶ **避難所**：中川自治会、天沼1丁目、2丁目自治会

さいたま市立芝川小学校 学校運営協議会 報告

日時 令和6年9月27日(金) 10:00~11:30

場所 1階 校長室

委員 9名

次第

- ① 校長挨拶
- ② 前期教育活動の報告
- ③ 熟議「防災教育における地域との連携について」
- ④ 「学校運営について」及び「学校職員の採用や任用について」
- ⑤ 諸連絡

【委員の方から】

○朝鮮学校における防災教育

朝鮮学校は、遠方からくる児童生徒も多く、休校等の判断は早めに行っている。避難訓練も他校同様、行っているが、避難所には指定されていない。そのため災害時の備蓄も自分たちで用意をしている。周辺地域の方が避難してくれば、受け入れる準備もある。芝川小学校や第二東中とも近いので、災害時は協力していきたい。

○住民の避難意識について

住民の避難場所に対する意識は差がある。実際に避難所に避難しても、環境は劣悪であることが多い。(体育館では冷暖房もない)子が通う学校は芝川小学校でも、避難所は別という場合もあり、知らない施設を避難所に指定されると、実際に避難したときその施設を知っている人が少ないなど、地域との連携に不安がある。

○学校が避難所になった時の課題

さいたま市では震度5弱以上の地震が発生した場合、避難所が開設される。運営訓練等も行っているが、子どもがいない場合を想定している。子どもの教育と避難住民の受け入れを並行して行うことは、非常に大変であることが予想される。有事の際に頼りになるのは、おやじの会など普段から学校の施設を使っている方たちになる。そういう意味では、中学生などは頼りになる。実際に、第二東中では避難所運営訓練に生徒が参加している。普段から避難所運営に必要なスキルを身に付けておくためにも、イベントなどに非常食の活用や災害用トイレの設置を位置づける案もある。

○防災教育での課題

小学校でも教科担任制が導入されてきている。いつどんな状況でも避難ができるようにする必要がある。災害時の学校生活における対応マニュアルはないので、様々な状況を想定しておくことが大切になる。

【その他】

- 西校舎の非常階段の滑りやすく危険である。対策が必要。
- 10月に学校評価アンケートを実施する。
- 芝川小学校の業務改善アンケートの結果を紹介した。
- 次回は令和7年2月13日(木)に行く。

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

- ▶ 令和7年の災害及び防災教育について
- ▶ 1月 1日 能登半島地震・・・冬季休業中
- ▶ 8月 8日 宮崎地震・・・夏季休業中
- ▶ 8日～15日「南海トラフ地震臨時情報」発表・・・夏季休業中
- ▶ 8月16日 台風 7号・・・夏季休業中
- ▶ 8月30日 台風10号・・・2学期3日目 給食後3時間下校



3 熟議「防災教育における地域との連携について」

【学校が関わる防災行事】

- ▶ 4月26日（金）小中合同引き渡し訓練（第二東中、海老沼小）
- ▶ 7月17日（水）竜巻対応避難訓練（ビデオ視聴）
- ▶ 7月25日（木）避難所開設運営委員会
- ▶ 9月 3日（火）避難訓練（地震→火災）



- ▶ 10月19日（土）避難所運営訓練
- ▶ 1月16日（木）避難訓練（地震、教科担任）

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

芝川小学校の避難所実態

- ▶ **地震**：大規模地震発生時（さいたま市で震度5弱以上）で避難所が開設
※児童がいる場合は引き渡し。
- ▶ **台風、洪水**：芝川小学校は、指定避難所にはなりません。
※児童にも台風で避難指示が出た場合は、学校に来てはいけなことを指導
※近隣の避難所にならない学校：桜木小・中、第二東中
※近隣の避難所になる学校：大宮東小・中、大宮八幡中、海老沼小、片柳小・中
- ▶ **避難所**：中川自治会、天沼1丁目、2丁目自治会

さいたま市立芝川小学校 学校運営協議会 報告

日時 令和6年9月27日(金) 10:00~11:30

場所 1階 校長室

委員 9名

次第

- ① 校長挨拶
- ② 前期教育活動の報告
- ③ 熟議「防災教育における地域との連携について」
- ④ 「学校運営について」及び「学校職員の採用や任用について」
- ⑤ 諸連絡

【委員の方から】

○朝鮮学校における防災教育

朝鮮学校は、遠方からくる児童生徒も多く、休校等の判断は早めに行っている。避難訓練も他校同様、行っているが、避難所には指定されていない。そのため災害時の備蓄も自分たちで用意をしている。周辺地域の方が避難してくれば、受け入れる準備もある。芝川小学校や第二東中とも近いので、災害時は協力していきたい。

○住民の避難意識について

住民の避難場所に対する意識は差がある。実際に避難所に避難しても、環境は劣悪であることが多い。(体育館では冷暖房もない)子が通う学校は芝川小学校でも、避難所は別という場合もあり、知らない施設を避難所に指定されると、実際に避難したときその施設を知っている人が少ないなど、地域との連携に不安がある。

○学校が避難所になった時の課題

さいたま市では震度5弱以上の地震が発生した場合、避難所が開設される。運営訓練等も行っているが、子どもがいない場合を想定している。子どもの教育と避難住民の受け入れを並行して行うことは、非常に大変であることが予想される。有事の際に頼りになるのは、おやじの会など普段から学校の施設を使っている方たちになる。そういう意味では、中学生などは頼りになる。実際に、第二東中では避難所運営訓練に生徒が参加している。普段から避難所運営に必要なスキルを身に付けておくためにも、イベントなどに非常食の活用や災害用トイレの設置を位置づける案もある。

○防災教育での課題

小学校でも教科担任制が導入されてきている。いつどんな状況でも避難ができるようにする必要がある。災害時の学校生活における対応マニュアルはないので、様々な状況を想定しておくことが大切になる。

【その他】

- 西校舎の非常階段の滑りやすく危険である。対策が必要。
- 10月に学校評価アンケートを実施する。
- 芝川小学校の業務改善アンケートの結果を紹介した。
- 次回は令和7年2月13日(木)に行く。

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

- ▶ 令和7年の災害及び防災教育について
- ▶ 1月 1日 能登半島地震・・・冬季休業中
- ▶ 8月 8日 宮崎地震・・・夏季休業中
- ▶ 8日～15日「南海トラフ地震臨時情報」発表・・・夏季休業中
- ▶ 8月16日 台風 7号・・・夏季休業中
- ▶ 8月30日 台風10号・・・2学期3日目 給食後3時間下校



3 熟議「防災教育における地域との連携について」

【学校が関わる防災行事】

- ▶ 4月26日（金）小中合同引き渡し訓練（第二東中、海老沼小）
- ▶ 7月17日（水）竜巻対応避難訓練（ビデオ視聴）
- ▶ 7月25日（木）避難所開設運営委員会
- ▶ 9月 3日（火）避難訓練（地震→火災）



- ▶ 10月19日（土）避難所運営訓練
- ▶ 1月16日（木）避難訓練（地震、教科担任）

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

芝川小学校の避難所実態

- ▶ **地震**：大規模地震発生時（さいたま市で震度5弱以上）で避難所が開設
※児童がいる場合は引き渡し。
- ▶ **台風、洪水**：芝川小学校は、指定避難所にはなりません。
※児童にも台風で避難指示が出た場合は、学校に来てはいけなことを指導
※近隣の避難所にならない学校：桜木小・中、第二東中
※近隣の避難所になる学校：大宮東小・中、大宮八幡中、海老沼小、片柳小・中
- ▶ **避難所**：中川自治会、天沼1丁目、2丁目自治会

さいたま市立芝川小学校 学校運営協議会 報告

日時 令和6年9月27日(金) 10:00~11:30

場所 1階 校長室

委員 9名

次第

- ① 校長挨拶
- ② 前期教育活動の報告
- ③ 熟議「防災教育における地域との連携について」
- ④ 「学校運営について」及び「学校職員の採用や任用について」
- ⑤ 諸連絡

【委員の方から】

○朝鮮学校における防災教育

朝鮮学校は、遠方からくる児童生徒も多く、休校等の判断は早めに行っている。避難訓練も他校同様、行っているが、避難所には指定されていない。そのため災害時の備蓄も自分たちで用意をしている。周辺地域の方が避難してくれば、受け入れる準備もある。芝川小学校や第二東中とも近いので、災害時は協力していきたい。

○住民の避難意識について

住民の避難場所に対する意識は差がある。実際に避難所に避難しても、環境は劣悪であることが多い。(体育館では冷暖房もない)子が通う学校は芝川小学校でも、避難所は別という場合もあり、知らない施設を避難所に指定されると、実際に避難したときその施設を知っている人が少ないなど、地域との連携に不安がある。

○学校が避難所になった時の課題

さいたま市では震度5弱以上の地震が発生した場合、避難所が開設される。運営訓練等も行っているが、子どもがいない場合を想定している。子どもの教育と避難住民の受け入れを並行して行うことは、非常に大変であることが予想される。有事の際に頼りになるのは、おやじの会など普段から学校の施設を使っている方たちになる。そういう意味では、中学生などは頼りになる。実際に、第二東中では避難所運営訓練に生徒が参加している。普段から避難所運営に必要なスキルを身に付けておくためにも、イベントなどに非常食の活用や災害用トイレの設置を位置づける案もある。

○防災教育での課題

小学校でも教科担任制が導入されてきている。いつどんな状況でも避難ができるようにする必要がある。災害時の学校生活における対応マニュアルはないので、様々な状況を想定しておくことが大切になる。

【その他】

- 西校舎の非常階段の滑りやすく危険である。対策が必要。
- 10月に学校評価アンケートを実施する。
- 芝川小学校の業務改善アンケートの結果を紹介した。
- 次回は令和7年2月13日(木)に行く。

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

- ▶ 令和7年の災害及び防災教育について
- ▶ 1月 1日 能登半島地震・・・冬季休業中
- ▶ 8月 8日 宮崎地震・・・夏季休業中
- ▶ 8日～15日「南海トラフ地震臨時情報」発表・・・夏季休業中
- ▶ 8月16日 台風 7号・・・夏季休業中
- ▶ 8月30日 台風10号・・・2学期3日目 給食後3時間下校



3 熟議「防災教育における地域との連携について」

【学校が関わる防災行事】

- ▶ 4月26日（金）小中合同引き渡し訓練（第二東中、海老沼小）
- ▶ 7月17日（水）竜巻対応避難訓練（ビデオ視聴）
- ▶ 7月25日（木）避難所開設運営委員会
- ▶ 9月 3日（火）避難訓練（地震→火災）



- ▶ 10月19日（土）避難所運営訓練
- ▶ 1月16日（木）避難訓練（地震、教科担任）

3 熟議「防災教育における地域との連携について」

芝川小学校の避難所実態

- ▶ **地震**：大規模地震発生時（さいたま市で震度5弱以上）で避難所が開設
※児童がいる場合は引き渡し。
- ▶ **台風、洪水**：芝川小学校は、指定避難所にはなりません。
※児童にも台風で避難指示が出た場合は、学校に来てはいけなことを指導
※近隣の避難所にならない学校：桜木小・中、第二東中
※近隣の避難所になる学校：大宮東小・中、大宮八幡中、海老沼小、片柳小・中
- ▶ **避難所**：中川自治会、天沼1丁目、2丁目自治会